

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 高崎 智子	職名 教授	学位 博士 (医学) (九州大学 2001 年)
----------	-------	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
予防医学	健康寿命、生活習慣、がん教育、がん検診、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸を図るため、啓発活動を通じて、学ぶことによる疾病予防を目指す。 ・がん検診に関する地域住民の意識と課題について検討する。 ・がん検診における要精密者の受診率を高めるための課題について検討する。 ・学生支援の一つとして、本学保健福祉学部 1 年生を対象に健康管理カルテを作成しその有用性について検討を行う。 ・医療記録データを利活用するための自然言語処理を支援することを目的とした医療用語の語構成と意味の解析を行う研究に、医学的知識を持つ共同研究者として参加している。

担 当 授 業 科 目
病理基礎医学 (1 年後期) 栄養学科 疾病診断治療学Ⅰ (2 年前期) 栄養学科 疾病診断治療学Ⅱ (2 年後期) 栄養学科 臨床基礎医学実習 (3 年前期) 栄養学科 管理栄養士演習Ⅰ (4 年前期、後期) 栄養学科 臨床栄養管理演習 (4 年前期) 栄養学科 初年次セミナーⅠ (1 年前期) 栄養学科 初年次セミナーⅡ (1 年後期) 栄養学科 実践活動 (3 年後期、4 年前期) 栄養学科

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 病理基礎医学 】</p> <p>1 年生を対象としており、大学で初めて学ぶ医学講義であるため、医学用語をはじめとし、医学の基礎となる基本的な知識を習得することを目標とした。病気の本質を理解するために、体の中で起きる変化を遺伝子・細胞・組織レベルから学び、疾病の種類や病因、病態との関連へと理解を深めていけるように努めた。授業のすべてを遠隔で行ったが、講義内容はプリントして事前に配布した。遠隔授業への対応として、スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、聞き取りやすいようはつきりと話すよう心がけた。学生側の受講状況が見えないため、授業中に質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。また学生の理解度を測るために、毎回の授業の終わりに確認テストを実施し、次回の授業の始めに理解度の低かった箇所を中心に再度解説して知識の定着を図った。</p>
<p>授業科目名【 疾病診断治療学Ⅰ 】</p> <p>管理栄養士として栄養学を学ぶ上で臨床医学の知識は不可欠である。管理栄養士が知っておくべき基礎知識および医学的な考え方について学ぶために、代表的な疾患の成因、症状、診断方法、検査結果、治療方法などの知識を修得することを目標とした。授業のすべてを遠隔で行ったが、講義内容はプリントして事前に配布した。遠隔授業への対応として、スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、聞き取りやすいようはつきりと話すよう心がけた。学生側の受講状況が見えないため、授業中に質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。また学生の理解度を測るために、毎回の授業の終わりに確認テストを実施し、次回の授業の始めに理解度の低かった箇所を中心に再度解説して知識の定着を図った。</p>

授業科目名【 疾病診断治療学Ⅱ 】

疾病診断治療学Ⅰで学んだ臨床医学的知識を基に、疾病や栄養療法に関する専門知識をさらに深めると共に、健康増進・疾病予防において管理栄養士が果たすべき役割についての重要性を学ぶことを目標とした。改訂された各種ガイドラインなどについては適宜補足して示し、常に最新の知識を得るよう促した。また実際に社会で問題となっている事例を取り上げ、学んでいる医学内容との関連を具体的に提示することで関心を高めるよう努めた。スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、授業中には質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。また学生の理解度を測るために、毎回の授業の終わりに確認テストを実施し、次回の授業の始めに理解度の低かった箇所を中心に再度解説して知識の定着を図った。

授業科目名【 臨床基礎医学実習 】

管理栄養士はチーム医療を担う一員である。医療の現場においては対象者の栄養状態や健康状態を把握した上で、栄養管理や指導内容を設定することが重要になってくる。医療現場の実際を理解するために、医療面接・身体診察法・生理検査法等に関する知識を修得できるように実習内容を設定した。新型コロナウイルス感染予防対策として、体調チェック、マスク着用、換気、消毒などに留意しながら実施した。各実習の最初には、臨床医学検査と疾病との関連についての知識を確認するために、講義形式と質疑応答形式による導入を行った。検査を実際に体験するのみならず、グループワーク・事例検討や質疑応答の機会を増やす等、主体的に参加する工夫を行った。実習の終了後には、実習時間内にレポートを作成するよう課し、理解度を確認した。なおレポート作成に際しては、インターネットを利用して情報検索することを促すとともに、参考となる URL を提示し、信頼性のある情報を得る方法について指導した。

授業科目名【 管理栄養士演習Ⅰ 】

4年生を対象として、「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」分野を中心に演習形式による講義を担当した。実際に出題された国家試験問題を中心に解き、解説を行った。解答を導き出す過程や要点をまとめたスライドを作成し、暗記に頼るのではなく理解して考える習慣付けができるようにした。国家試験頻出分野に関しては、類題をくり返し解くことで理解の定着に努めた。

授業科目名【 臨床栄養管理演習 】

4年生を対象として、医療現場における勤務環境とその改善策について検討した。医療従事者の働き方改革として、医療職種間でのタスク・シェアリング（業務の共同化）、タスク・シフティング（業務の移管）への取り組みが広がっており、チーム医療を推進することが求められている。具体的な対応策を紹介しながら管理栄養士の役割と専門性について再確認し、今後の医療提供の方向性について理解を深めた。

授業科目名【 初年次セミナーⅠ 】

ビタミンB1欠乏症である脚気について、丁寧な食事調査をすることで脚気の原因が食物にあることを示した「脚気論争」について紹介した。栄養学科に入学して間もない1年生を対象として、疫学調査の重要性および食事によって予防できる病気や「栄養学」という学問についての理解を深めることで、将来就くべき専門職に対するモチベーションを高めることを促した。

授業科目名【 初年次セミナーⅡ 】

1年生を対象として、「研究倫理」に関する講義を行った。研究不正行為に関して事例を挙げながら紹介し、それらの行為が学生にとっても無縁ではないことを説明した。大学生としての身近な例として、不正のない実験ノートやレポートの書き方に関する指導を行った。

授業科目名【 実践活動 】

日本人で増加している大腸がんと乳がんは、欧米型食生活との関係が指摘されている。13名の4年生に対して、前年度後期から今年度前期にかけて、大腸がんと乳がんについての「がんの予防と食事との関連」をテーマに、文献検索等により情報収集・考察し、レポートにまとめることを指導した。学生の主体性を大切にしながら、資料の調べ方、引用の仕方、レポートの作成方法等について、対面および遠隔にて指導を行った。調べた情報をもとに要点をわかりやすくまとめ、地域住民向けに配布することを想定したオリジナルのリーフレットを作成した。また、がんの予防に有益な食材を使ったレシピを調べ、紹介させた。若者ならではの感性で、レイアウト、色彩、イラスト等にこだわったリーフレットを作成しており、これらの活動を通じて、卒業後に管理栄養士として栄養指導等を行う上での具体的な知識や患者とのコミュニケーション能力を養うことができたと考える。今年度後期からは2名の3年生に対して、対面および遠隔にて同様の指導を行っている。学生は自主的に取り組んでおり、今後は、4年生前期（次年度）にかけて市民公開講座等を開き、地域住民への情報発信と健康支援を行うことを予定している。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本人間ドック学会	人間ドック認定医 人間ドック健診専門医 人間ドック健診指導医 人間ドック健診情報管理指導士 遺伝学的検査アドバイザー	2005年8月～現在に至る 2012年1月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2007年8月～現在に至る 2020年4月～現在に至る
日本抗加齢医学会	日本抗加齢医学会専門医	2020年1月～現在に至る
日本がん検診・診断学会	がん検診認定医	2012年10月～現在に至る
肺がんCT 検診認定機構	肺がんCT 検診認定医	2017年4月～現在に至る
日本乳がん検診精度管理中央機構	マンモグラフィ読影認定医	2006年10月～現在に至る
日本医師会	福岡県医師会認定総合医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医	2017年4月～現在に至る 2016年9月～現在に至る 2011年5月～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 実践医療用語－語構成要素語彙試案表 Ver.1.0	共	2021年3月30日 Web 公開	言語資源協会 (GSK)	① 医療記録データを利活用するための自然言語処理を支援することを目的とし、医療記録に含まれる合成語7,192語を構成する語構成要素6,380要素を対象に、意味的に分類するための意味ラベルを付与した。 ② 相良かおる、小野正子、高崎智子、東条佳奈、麻子軒、山崎誠、内山清子、岡照晃
(学術論文)				
(翻訳)				

2021年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) 講習会発表 1. 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の主な変更点について 「研究取扱規則」および「倫理審査委員会規程」の改正について	単	2022年3月	西南女学院大学・短期大学部 2021年度 研究倫理講習会	① 2021年6月に施行された新倫理指針の主な変更点について解説した。また新指針を受けて本学の規程等を改正し、2022年4月より施行する。その改正点について解説した。
研究報告会発表 2. 女子大学生を対象にした健康管理カルテの作成と有用性	共	2022年3月	2021年度 西南女学院大学保健福祉学部 附属保健福祉学研究所 報告会	① 女子学生の健康に対する意識を高め、学生の健康維持・増進に向けた学生支援の取り組みを実施するための方法として、「健康管理カルテ」の作成を行なった。今後、その有用性を調査し、改良を重ねることで、より学生にとって利用しやすい「健康管理カルテ」を作成する。 ② 樋口由貴子、目野郁子、高崎智子、水貝洵子、山田恵、大内田知英

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
医療記録文に含まれる合成語の語構成解析ーリアルワールドデータの利活用に向けてー	文部科学省 科学研究費補助金（基盤研究(B)）	○相良かおる 高崎智子 (山崎誠) (東条佳奈)	2021年度 3,250,000（直接経費：2,500,000, 間接経費：750,000）
女子大学生を対象にした健康管理カルテの作成と有用性	西南女学院大学保健福祉学部 附属保健福祉学研究所 研究費	○樋口由貴子 目野郁子 高崎智子 水貝洵子 山田恵 大内田知英	192,500

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期等
国家公務員共済組合連合会 新小倉病院	非常勤医師・産業医	2019年2月～現在に至る
九州地区学生指導協議会	常任委員会委員・福岡北支部長	2021年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

西南女学院 将来計画委員会 大学・短期大学部 委員 (2021年4月～現在)	
西南女学院大学・短期大学部	
学生部長	(2021年4月～現在)
大学評議会 委員	(2021年4月～現在)
運営会議 委員	(2021年4月～現在)
点検評価改善会議 委員	(2021年4月～現在)
認証評価ワーキングチーム「学生領域」担当メンバー・ワーキングチーム副責任者	(2022年1月～現在)
学生委員会 委員長	(2021年4月～現在)
就職委員会 委員長	(2021年4月～現在)
国際交流委員会 委員長	(2021年4月～現在)
大学キャンパスハラスメント防止・対策委員会 委員	(2021年4月～現在)
倫理審査委員会 委員	(2019年4月～現在)
「西南女学院 研究取扱規則及び倫理審査委員会規定の改正に関するワーキンググループ」メンバー	(2021年4月～現在)
学生個人情報保護委員会 委員	(2021年4月～現在)
地域連携室運営協議会 構成員	(2021年4月～現在)
学生総合支援室運営連絡協議会 構成員	(2021年4月～現在)
大学教学マネジメント検討会 構成員	(2022年1月～現在)
将来計画検討プロジェクトメンバー	(2021年7月～現在)
硬式テニス部 顧問	(2021年4月～現在)
栄養学科1～4年生 アドバイザー	(2019年4月～現在)
管理栄養士国家試験対策講座（前期・夏期集中・後期・国試直前）	(2019年4月～現在)
栄養学科学生に対して「遠隔・対面併用型授業における本学学生の健康状態に関するアンケート調査」実施	(2022年1月)